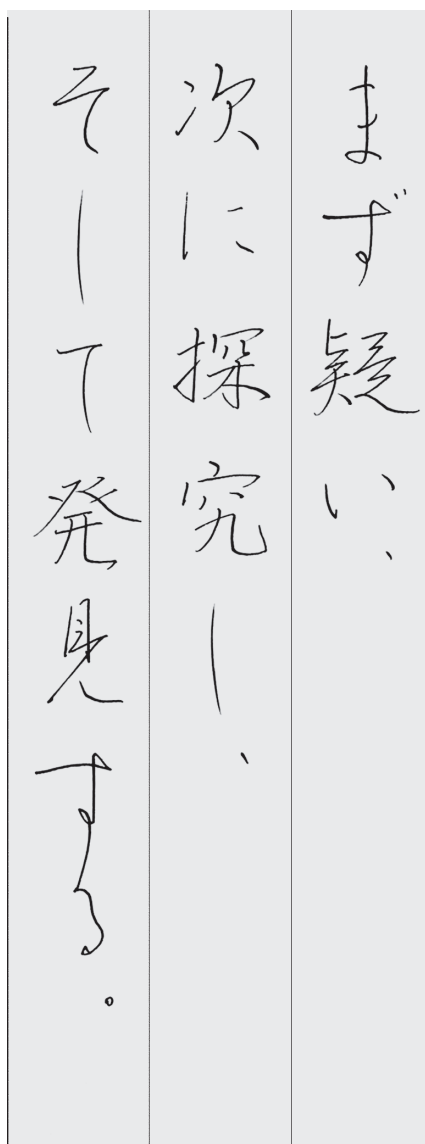


憲照先生の手本ア・ラ・カルト(17)
(à la carte)

締切り 五月二十四日(必着)

昭和53年2月

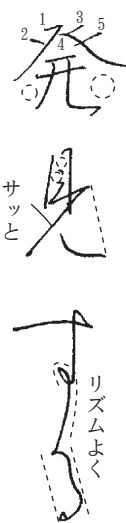
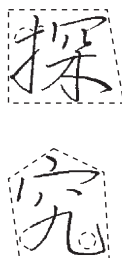
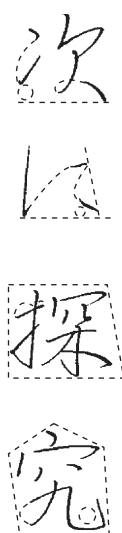


つけペン・墨汁使用

〔解説〕



ぶつからないように



リズムよく

▼同字には変化を…「す」

◎本会は、今年で創立六十七周年を迎えます。

まだまだ世の中には、新型コロナ禍の影響で、世界中が不安の中にいます。

しかしながら諸先生、会員の皆様の「書」への意欲は消えることなく、時間と共に基本的活動は戻りつつあります。

◎今年の短期特別課題は、昨年に引き続き『原点回帰』をテーマとして、本会の創設者奥村

憲照先生の手本を改めて学び直すことにいたします。お手本は、硬筆、毛筆、一般部、教育部なども合わせれば相当数あります。一類を四ヵ月交替で掲載していく予定です。

◎多くの方がかつて憧れた憲照先生の書と向き合うことで、書への情熱を今一度燃え上がらせていただければと思います。

◎創立七〇周年に向けて、力強く歩んで行きましょう。

★まず疑い…(書体Ⅱ行書)

バックル(一八三一〜六二・イギリス、歴史学者)が、歴史を研究する際の思考の順序であったのだろう。これは単に史学にとどまらず、すべての学問研究の順序であろう。したがって、学問研究に従事する誰もが、まず頭に入れておかねばならない大方針ではないだろうか。

〔作品の出し方〕

▼今回も硬筆部だけに限ります。全員本会段位

用紙に書いて下さい。硬筆を習っていない方も、出品は可能です。ご自由にどうぞ。

▼用具は自由ですが、線美を追求のためには、つけペン・墨汁をお薦めします。

▼出品制限の対象とはなりません。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績を、作品余白にお書き下さい。

※不明な点は無記入でも結構です。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

▼月例作品と同封する場合は、必ず別のビニール袋に分け、表に「月例」「短期特別」と明記して混同しない様をお願いします。

一般部規定課題

締切り 5月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

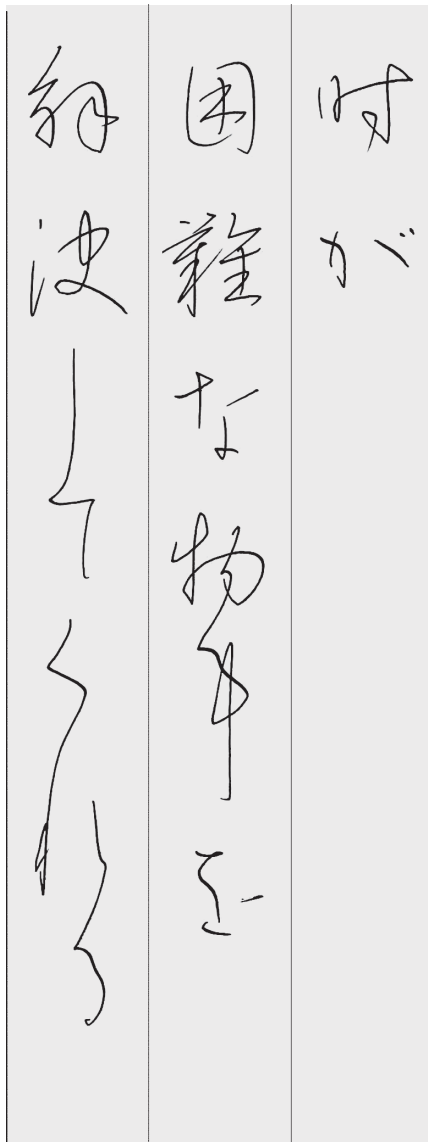
〔解説〕

〔解説〕

〔読み〕時が困難な物事を解決してくれる



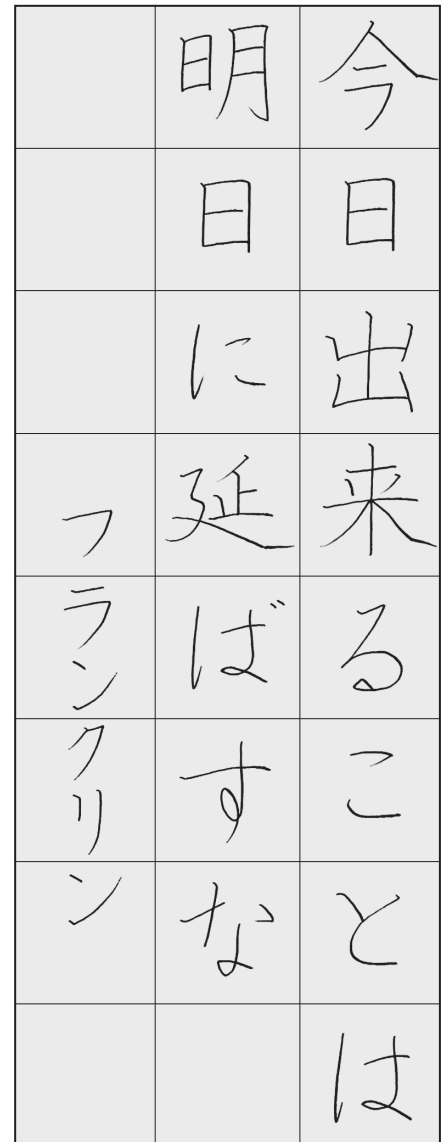
▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。



新井龍峰書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙



古田瑞苑書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆6月課題予告(楷書)
尊敬がなければ
真の恋愛は
成立しない
▼教範・書範Ⅱ行草または草書
▼師範Ⅱ行書

★時が…(書体Ⅱ行草または草書)
イソップ(紀元前六世紀頃)の寓話より
お腹のすいた狐が、大きなカシの木
のうろの中にあつた食べ物を平らげ、
お腹が膨らんで外へ出られなくなつて
しまった。そこを通りかかった仲間の
狐が「泣くことはないさ。おとなしく
待ってれば、また腹がへつて楽に出
られるよ」と言つたという話。
人生においても困難は多いが、やが
て時が解決してくれるものである。

◆6月課題予告(行書)
夫婦生活は
長い会話である
ニーチェ

★今日…(書体Ⅱ楷書)
ベンジャミン・フランクリン
(一七〇六—一七九〇)
アメリカの科学者・政治家
ベンジャミンは、貧しい家に十五番
目の子として生まれ、十歳の時に小学
校を中退して働かなければならなかつ
たが、努力の末、新聞、雑誌などの出
版で成功し、さらに独学により科学者
として有名になった。この偉業は課題
文のように、一日一日を大切に有効に
生きてきたから成し得たことに違ひな
いだろう。

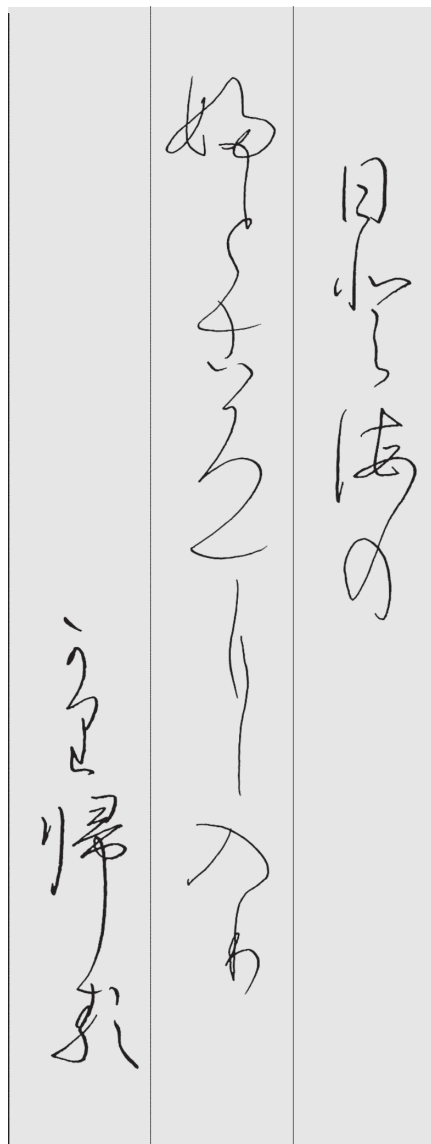
一般部かな課題

締切り 5月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

登^登婦^{婦と古ろ耳}と^{利可里}海^類の懐に入り雁帰る

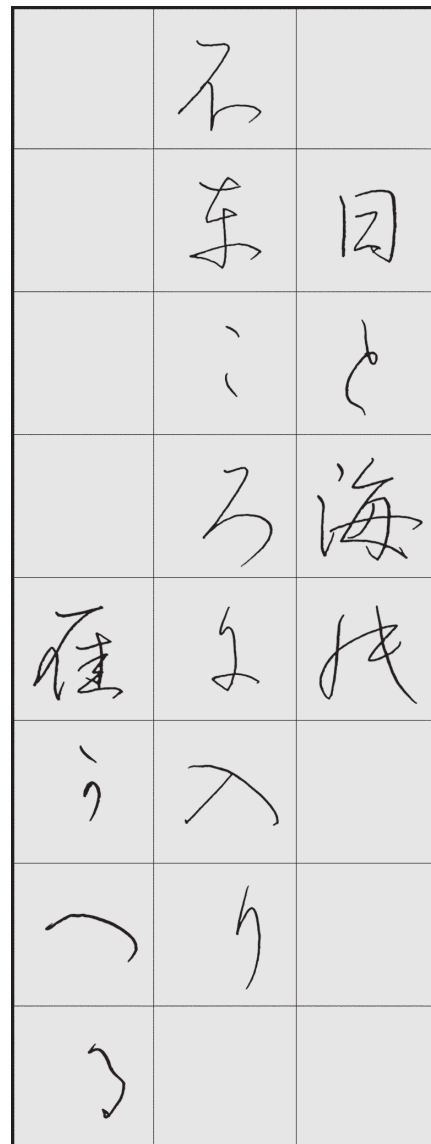


たなかきこう 田中貴光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

日と海^{能不東ころ}の懐^{可へ}に入り雁帰る

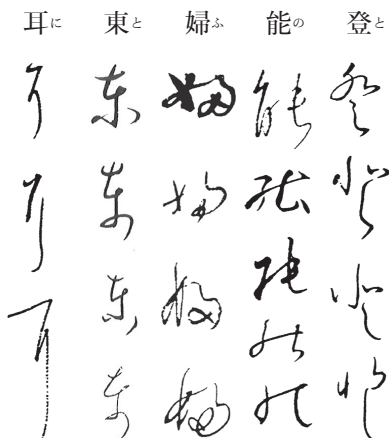


たなかきこう 田中貴光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

〔古筆参考〕



◆6月課題予告

滝落ちて群青世界とどろけり

(水原秋桜子)

日と海^{ふところ}の懐^{かり}に入り雁帰る

(阿部みどり女)

〔句解〕陽と海とがやわらかく睦み合うような北の空を指して、あたかも懐^{ふところ}に入るように、一群の雁^{かり}が帰って行く。

〔鑑賞〕一般の経験からしても、夕暮れの海を行く雁を連想するが、東北の東海岸という状況からみて、暁のうす闇を行く雁であろうと、上野さち子は推定している。『近代の女流俳句』。

日と海の形作る大景を「懐」といったのがいかにもおおらかで暖かい。

締切り 5 月 24 日(必着)

街路樹をわたる風に、木洩れ日が
眩しい季節となりましたが、如何
お過ごしですか。可見市にある
ぎふワールド・ローズガーデンでは
ばらの花が咲きそろそろ頃ですが、
あなたもお見逃ししないようにね。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

街路樹をわたる風に、木洩れ日が
眩しい季節となりましたが、如何
お過ごしですか。可見市にある
ぎふワールド・ローズガーデンでは
ばらの花が咲きそろそろ頃ですが、
あなたもお見逃ししないようにね。

横 書 き 課 題

お 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

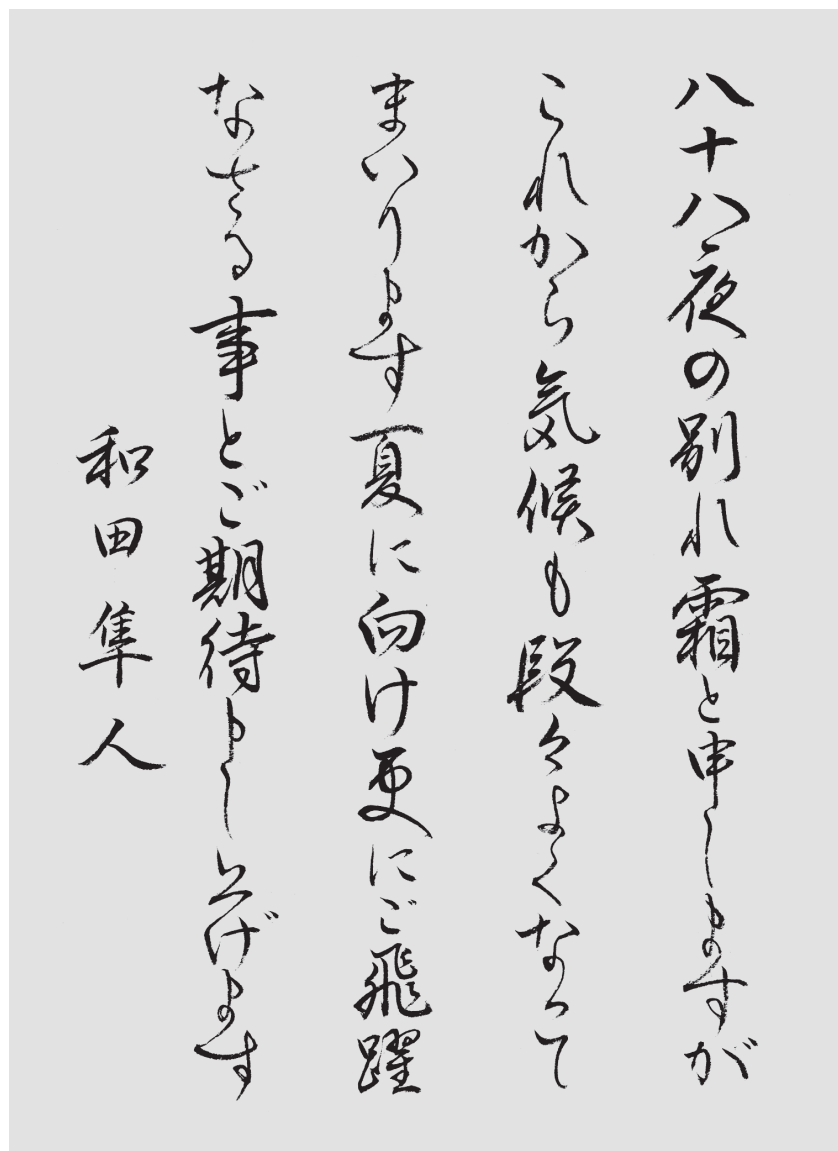
自然の丘陵を利用した青葉城は、
「荒城の月」の舞台といわれる。

三重県伊勢市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

書 香 梅 藤 伊



締切り 五月二十四日 (必着) 半切 (一二六 cm × 三五 cm)

荻田蒼仙書

山色湖光設朝供

竹影松陰生午涼

房皚

〔条幅解説〕

細い線(画)は肉太い線の中では目立たないが、それだけ腕前を見極められるだけに重要。起筆での穂先の微妙な振れ、横画は穂先を線の中心から手前、縦画は中心から右を通す工夫も一方法です。

八十八夜の別れ霜と申しますが
これから気候も段々よくなって
まいります。夏に向け更にご飛躍
なされる事とご期待申し上げます

(ご自分の氏名)

・印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔大意〕山の影や湖水の影を見ては朝の食事をすませ、竹の色や松の小かげには真昼にも涼しい気がする。

初出品の方へ

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

新入から1級まで(楷書)

澤

幸
寿
書

然 結
成 果 自

けっかしねんになる
結果自然成

〔大意〕正しい目的に向かってたゆまぬ努力を続けていけば、ふさわしい結果はおのずとやってくる、という禅の言葉。

〔解説〕

結 果

自 然

成

◆6月課題予告(行書)

月照一
孤舟

準初段から師範まで

須田一葉臨

循躬省
慮弥益

循
躬
省
慮
弥
益

〔解説〕

〔出典〕 集字聖教序（六七二）
〔筆者〕 王羲之法書より集字
〔読み〕 躬に循じて省慮し、弥よ
（厚顔を）益す。

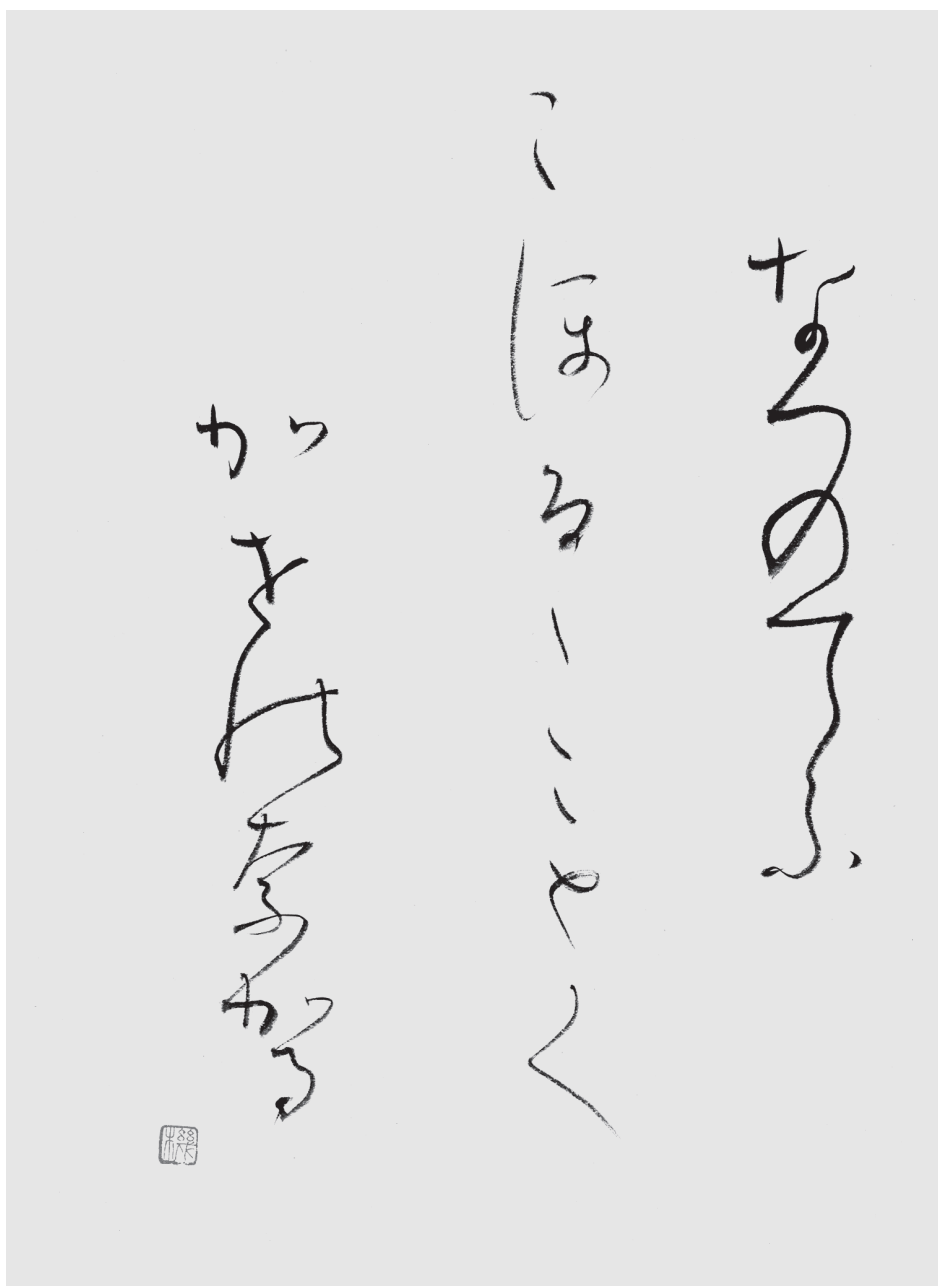
循 躬 省
慮 弥 益

◆6月課題予告
※文献によって字体が異なる場合があります。

伯英不
致絶作

新入から1級まで

浅井機山先生書



夏の蝶こぼるる如く風の中
加世能奈駕
原石鼎

〔句意〕 初夏の風の中、蝶たちのひらひらと舞うさまは、まるで花がこぼれるようだといふのである。可憐で美しい句。

◆6月課題予告
夕風や白薔薇の花皆動く

〔解説〕

上5字は、5字とも連綿している。中7字は、7字とも単体です。

下5字は、変体仮名で1字単体、4字連綿。

さて、1行ずつ見ていきましょう。

「なつのてふ」

字幅がほぼ同じなので書きやすいでしょう。連綿途中の角(転折)さえ上手く運筆すれば、連綿は難なく書けます。角が上手く書けない場合は、いったん紙面から筆を離して(筆を180度回して持ち直し)、そうすると毛先が立ちますから、毛先を角へ置いて、次の線を引けば難なく書けます。これが自然に出来るまで練習すると、上から下まで連綿している行であっても、難なく書けるのです。

「いほるゝことく」

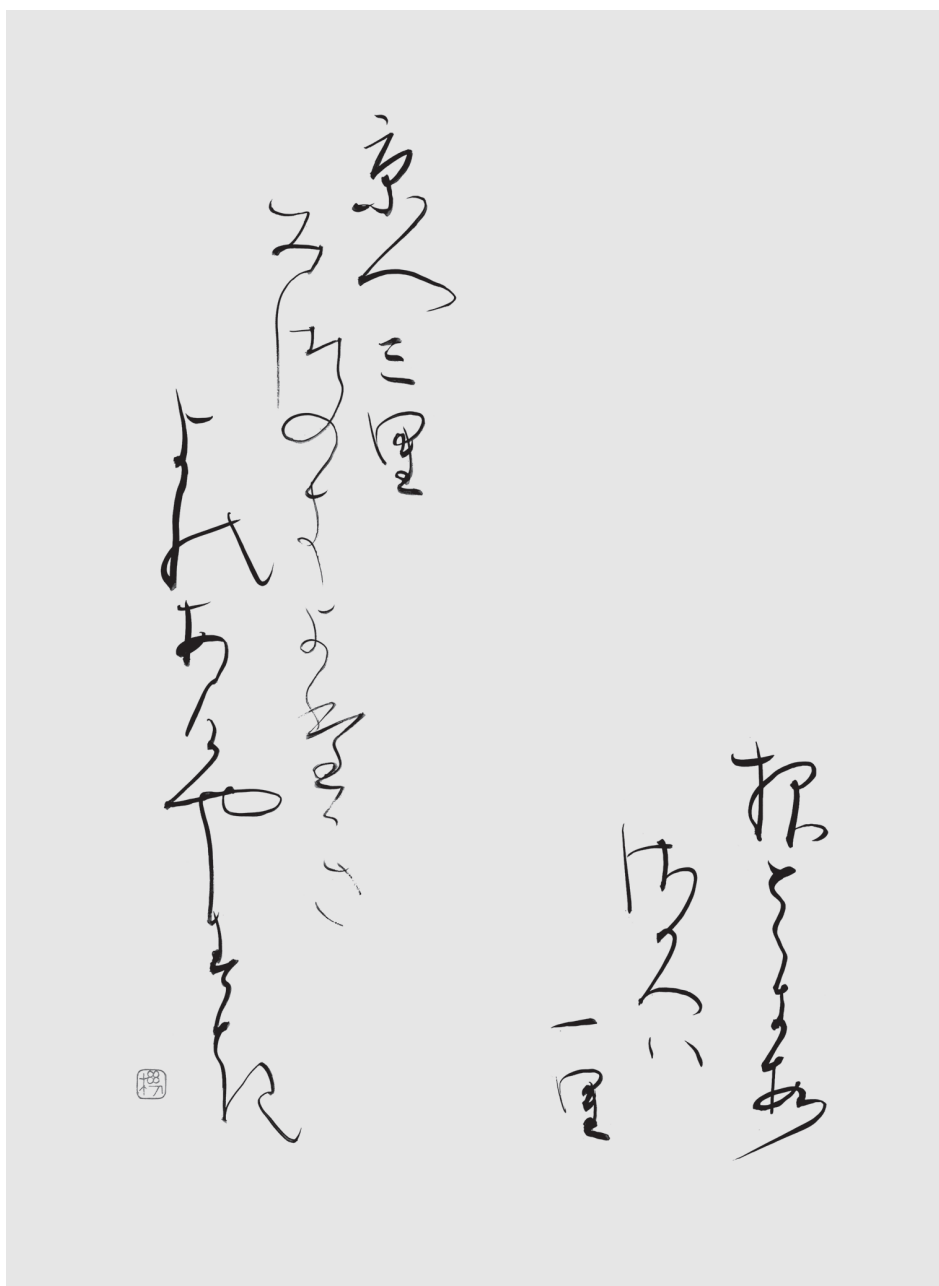
単体は〈意連〉という言葉がありますね。実際に切れていても心はつながっているというものです。また、〈放ち書き〉という言葉があります。これは太鼓を叩く気持ちで書くことになっていきます。単体では1つの点、1つの線を書いたら、紙面から離れて空中に上がって、下りて次に点や線を書くのです。そうすると、点や線の動きも大きく、次へつきへとつながっていくのです。

「加世能奈駕」

変体仮名では、その字形を覚えながら、元の漢字(字母)も覚えるようにして下さい。字は、小さい字や大きい字、ヨコ広い字やタテ長の字があります。

準初段から師範まで

浅井機山先生書



報、支数佐可へは一里京へ
三里水の清滝夜の明けやすき
与謝野晶子

〔歌意〕

ここは嵯峨へは一里、京へは三里、清滝川の川音を絶えず聞く幽境だ。ホトトギスがいま啼いて過ぎたが、間もなく夏の夜は明けるであろう。

◆6月課題予告

とりどりにつくるかざしの花もあれど
にほふ心のうるはしきかな

〔解説〕

料紙は、鳥の子(雁皮)に水色で具引き、ボカシを中ほどより上の左と下方右寄りに、そこへ金の砂子をばらばらと撒いています。これくらいのおまわり強くないボカシでは、散らし書きへの影響は考えなくてもよさそうです。

全体は、大きな右上の余白が斜め下に下りて、散らし書きは右下の三角、半分から左側に3行書きが、だんだん行が長くなっていきます。

さて、1行ずつ見ていきましょう。

「報と、支数」

上の余白を受け入れるつもりで大きく「報」を書き、「数」の最後は勢いよく左へ働きかけます。

「佐可へ八」

右の大きさを受けてサラリと書き、

「一里」

書く位置に注意して、「里」のタテ長以下で、右の「数」をしっかりと受け止めます。

「京へ三里」

上にあがって大らかに書き、「三里」はへ放ち書きして右の余白を意識します。

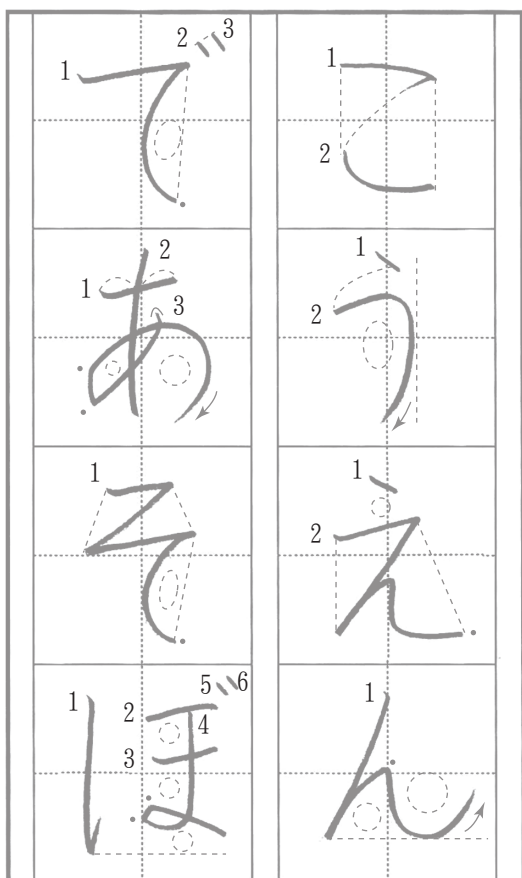
「み徒の支よ堂き」

墨量が少なくなつて、細く書いて、「堂」で少し太さを出して1行の変化とし、「き」は墨量がよいよきなくなつて下と右の余白に溶け込みます。

「よ能あ介や春起」

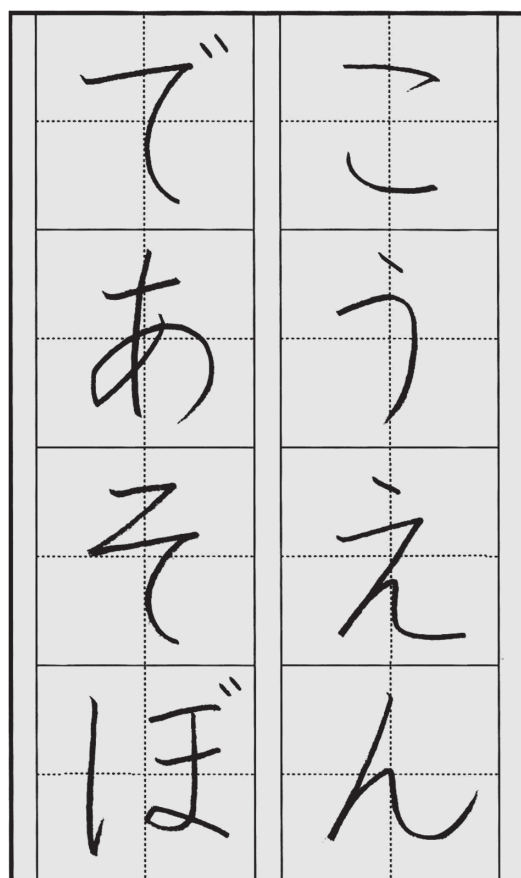
たっぷり墨継ぎして、力強く一気に1行を書きます。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



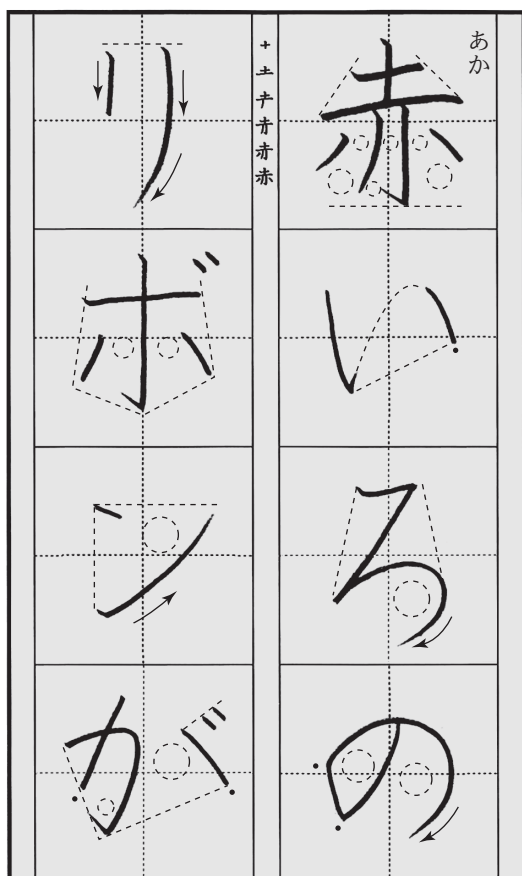
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準
初
段
以
上

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)

に	西
夕	の
田	お
か	山

新入〜1級

日	ゆ	西
が	っ	の
し	く	お
ず	り	山
む	タ	に

準初段以上

小二年

準初段以上

人	の
に	み
配	物
る	友

新入〜1級

た	み	用
ち	物	意
に	を	し
配	友	た
る	人	の

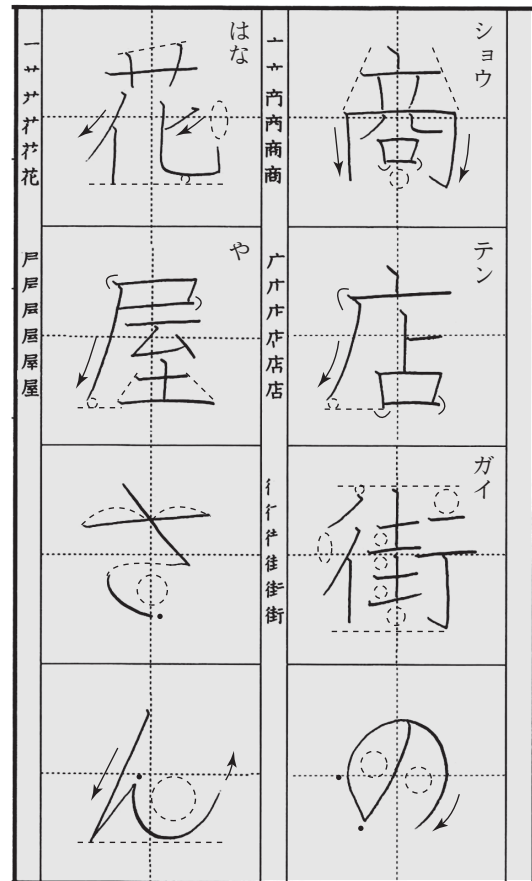
準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小四年



(全員)

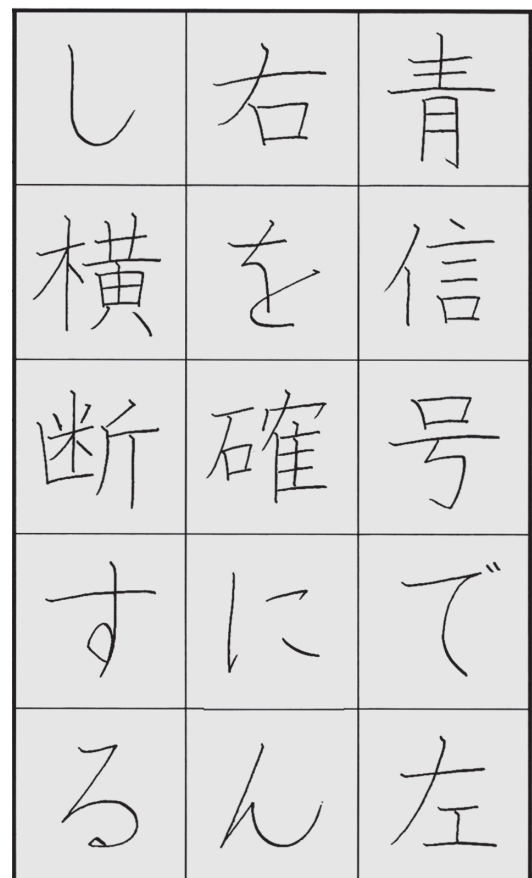
新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- *用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- *六月締切り分までは、この方法が続けます。
- *ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。
- *七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

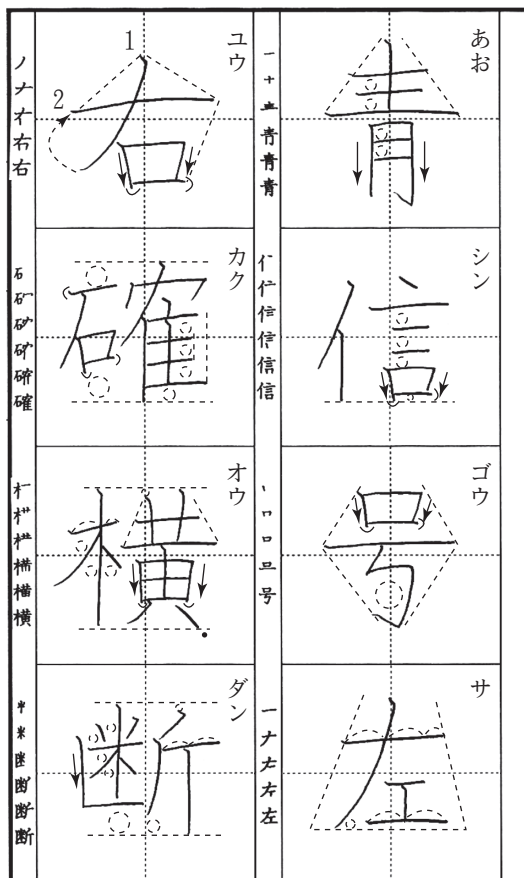
小五年



(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)



小四年以上 岡嶋桂川書

〈用具〉自由(黒色に限る)

ドウ	野
点	球
延	試
長	合

解説(よく見て習いましょう)

長	は	野
戦	同	球
に	点	の
入	で	試
る	延	合

小六年

(全員)

く	の	多
感	恩	大
謝	恵	な
す	に	自
る	深	然

中二・三年

(楷書)

朗	放	お
読	送	昼
し	で	の
ま	詩	校
す	を	内

中一年

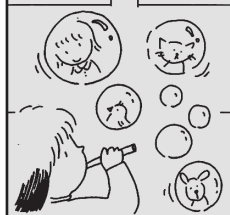
(楷書)

▼小三年以下の課題 や 矢 川 智 水 書

※五月さつき＝単語としてこのように読みます。

◎お手本はえんぴつ使用

と	シ	ふ	青 あお	五 さ
ば	ヤ	ん	い	月 つき
そ	ボ	わ	空 そら	晴 は
う	ン	り	に	れ
	玉 たま	と		の



しめきり 5月24日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよい。

▼小四年以上の課題 なか むら すい えん 書

母 はは	お	一 いっ	カ	感 かん
に	手 て	緒 しよ	ー	謝 しゃ
渡 わた	伝 つた	に	ネ	を
す	い		ー	込 こ
	券 けん		シ	め
	を		ヨ	て
			ン	
			と	



◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年／小二年
酒井智仔書





小三〜小五年
水野碧友書

中二・三

感謝

小六

野球

小六・中二・三年

玉樹小華書

読

野

感

球

謝

朗

中一

朗読

第122回 硬筆検定試験受験要項

5月24日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、五月のすべての硬筆月例競書をお休み下さい。（短期特別課題は出品可）

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。



ただし教範コースは、上から、①規定②かな③はがき④教育部手本課題（小一から）⑤小論文⑥書歴（初回のみ。詳細は本部へ問合せ）の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を六月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。（振替、その他は不可）

●締切り 令和四年五月二十四日（本部必着）

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和四年八月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留（返信用封筒同封）でお申込み下さい。

（左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします）

一般部三段コースまで（規定・かな）…一、二〇〇円

規定 …一、四〇〇円

はがき・かな …二、〇〇〇円

教育部 …八〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課 題	最 高 昇 段 級 位	課 題	規 定			かな	はがき	計	受 験 料
				楷 書	行 書	草 書				
一 般 部	1級コース	1級まで	下 掲 課 題 (級位用紙使用)	1	1	—	(イ)1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	下 掲 課 題 (段位用紙使用)	1	1	1	(ロ)1	—	4	2,100

▶か な……田 中 貴 光 書

▶規 定……奥 村 憲 照 先 生 書

課題（ロ）
段位用紙

課題（イ）
級位用紙

《行草または草書》
段位用紙

《行 書》
段位用紙

《楷 書》
段位用紙

葛城の山懐に寝釈迦かな（阿波野青畝）

	や		葛
	ま		城
	よ		
は	と	の	
釈	こ		
迦	ろ		
う	よ		
ふ			

真の進歩である

真の進歩である

真の進歩である

◎1級コースは級位（マス目）用紙使用のこと。

◆一般部書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

◎師範試験は、毎年二月に単独で実施しています。

課 題 コース		受 験 資 格	最 高 昇 級 段 位	課 題	規 定			かな	はがき	計	受験料 (新価格)
					楷書	行書	草書				
一 般 部	書範コース	・有 段 者 ・支局・支部長	書範まで	下記3科目活字課題	1	1	1	(口)1	1	5	3,000
	教範コース	・書 範 ・支局・支部長	教 範	下記3科目活字課題 教育部手本課題 小論文(私の学習法)	1	1	1	1	1	10	4,200
教 育 部	普 通 コ ー ス	_____	5月しめきりの月例競書課題 ※筆記具は自由							1	420
	会 友 コ ー ス	・四段以上の中学生 ・準会友の小学生	5月しめきりの月例競書課題と下記活字課題（行書） ※筆記具は自由							2	740

◎筆記用具は自由としますが、教育部手本課題のみ指定があります。ご注意ください。

■書範・教範コース受験のきまり

- 一、書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり
の受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、すで
に単位を取得されている、受験の際は改めて
全科目(小論文不要)を提出して下さい。ただ
し、合格科目については、審査の対象から除き
ます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと
無効になります。

書範・教範コース課題

規定 両コース共通

●楷・行・草(行草)、三体提出(段位用紙使用)

音楽は人の心を
穏やかに優しく
道徳的にする

かな

▼書範コース……前頁かな(口)課題(段位用紙使用)
▼教範コース……左記の和歌を、本会かな用紙に
ちらし書きにして下さい。

なにごともうつりのみゆくよのなかに
はなはむかしのはるにかはらず(良寛)

はがき 両コース共通

五月晴れの空に勢いよくおどる
こいのぼりを見上げて、茂夫が
大喜びしています。初節句にと
いただいたのがつい昨日のように
思われますのに、早いものですね。
一度ぜひお越し下さい。

(はがき用紙使用)

■教育部手本課題 教範コースのみ

●左記の学年で計四枚

用具＝えんぴつ

小 1	左
よ	と
く	右
見	を
て	

小 3

で	品	お
話	な	客
され	こと	様が
た	ば	上

用具＝えんぴつ

用具＝鉛筆以外

小 4	委
拳	員
を	の
行	選
う	

中 3

す	居	見
目	て	え
白	花	か
か	こ	く
な	ぼ	れ

用具＝鉛筆以外

(行 書)

(注) 氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

小論文課題 教範コースのみ

▼題 名「私の学習法」

●四百字詰原稿用紙二枚(八〇〇字)以上
※原稿用紙二枚半程度にままとするとよい。
※用具は自由。(鉛筆不可)

会友コース課題

▼五月締切りの自分の学年の月例課題一枚
▼左の活字課題の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩をとじます。

用具＝自由

時	が	文
代	作	学
を	ら	は
反	れ	そ
映	た	れ

(行 書)

第82回 毛筆検定試験受験要項

6月23日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、六月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。（短期特別課題は出品可）

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴（初回のみ。詳細は本部へ問合せ）の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を七月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。（振替、その他は不可）

●締切り 令和四年六月二十三日（本部必着）

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和四年九月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留（返信用封筒同封）でお申込み下さい。

（左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします）

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

・活字課題

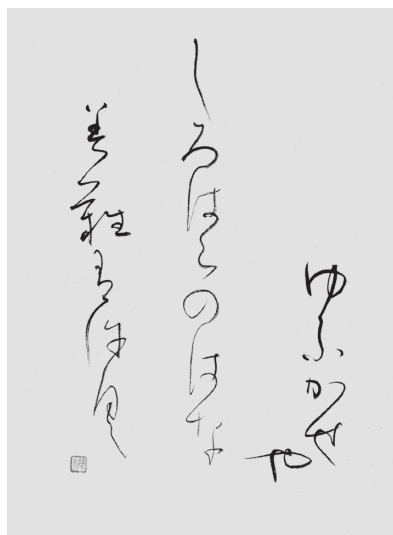
漢字半紙	一、二〇〇円
細字・かな	一、八〇〇円
漢字半紙	一、四〇〇円
条幅	三、八〇〇円
細字	二、〇〇〇円
教育部	九〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇位	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題	1	1	1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	22ページに掲載の漢字・かな・細字	1	1	1	1	4	2,100

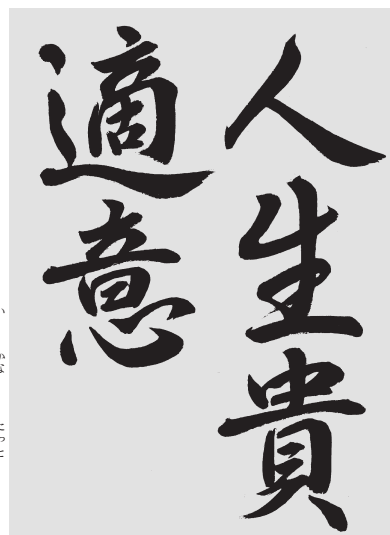
〔1級コース課題〕

《かな》



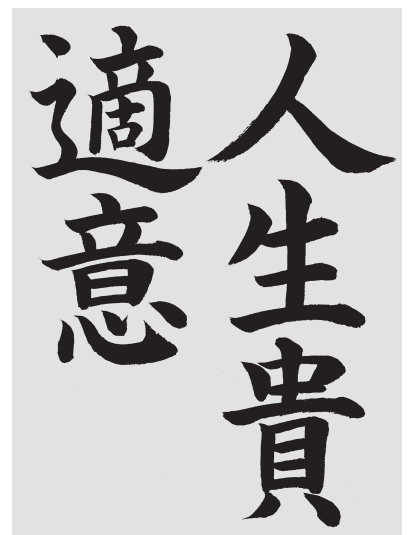
浅井機山先生書

《行書》



澤幸寿書

《楷書》



コース	課 題	受 験 資 格	最 高 昇 位	課 題	漢 字			かな	細 字	条 幅	教 育 手 本	計	受験料 (新価格)
					楷書	行書	草書						
一 般 部	五 段	有 段 者	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,700
	書 範	有 段 者	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,200
	教 範	書 範	教 範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,200
教 育 部	普 通	—	6月しめきりの月例競書課題									1	420
	会 友	四段以上の中学生 準会友の小学生	6月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)									2	740

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

五段・書範・教範コース受験のきまり

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のと
おりの受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取
得されていても、受験の際は改めて全科目を提出し
て下さい。ただし、合格科目については、審査の対
象から除きます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効
になります。

五段・書範・教範コース課題

漢 字

五段コース以上共通(半紙)

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に
臨書して下さい。

▼孔子廟堂碑

使紫微降光丹



▼集字聖教序

西域乘危遠邁



▼書 譜

烈挹義獻之前



かな 三段コース以上共通(かな用半紙)

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎とりどりにつくるかさしの花もあれど
にほふ心のうるはしきかな(昭憲皇太后)

※22頁参照

条 幅 書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

涼 聲 度 竹 風 如 雨
さいえいまだをうごかしてつきまつにあり
碎 影 揺 窓 月 在 松

細 字 五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてく
ださい。

薰風緑樹をわたる好季節となり
ましたが お健やかにお過ごし
でしょうか 清々しい若葉の季節
大いに英気を養いたいものです

教育部手本課題 教範コースのみ(半紙)

小 1 みそ

小 6 平 温 均 気

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

会友コース課題

風景

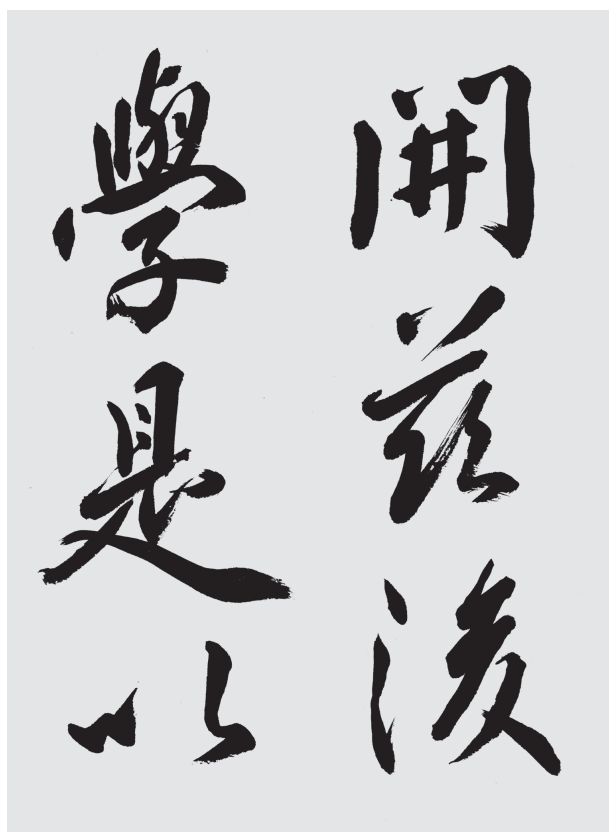
(行 書)

▼六月締切りの自分の学年
の月例課題一枚
上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩
をとじて出品のこと。

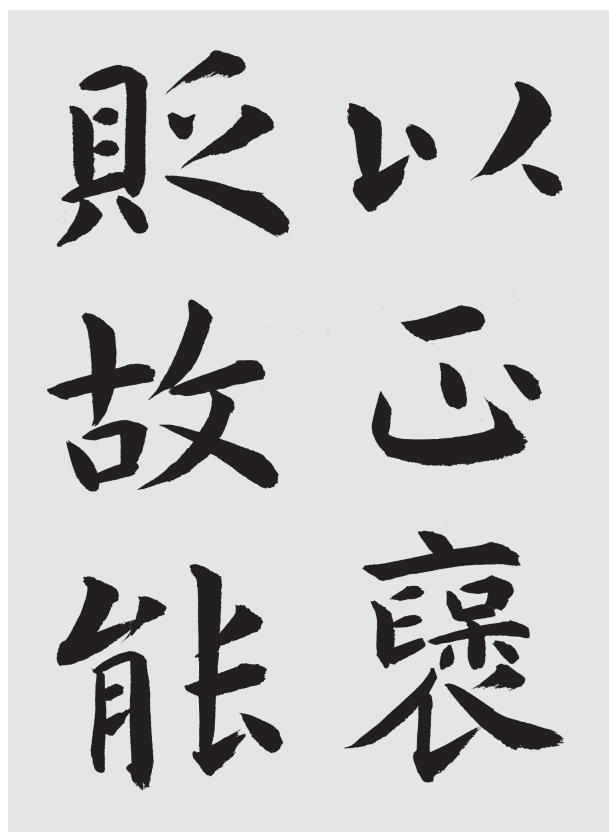
◆毛筆検定試験三段コース課題

《集字聖教序》

《孔子廟堂碑》



開
茲
後
學
是
以

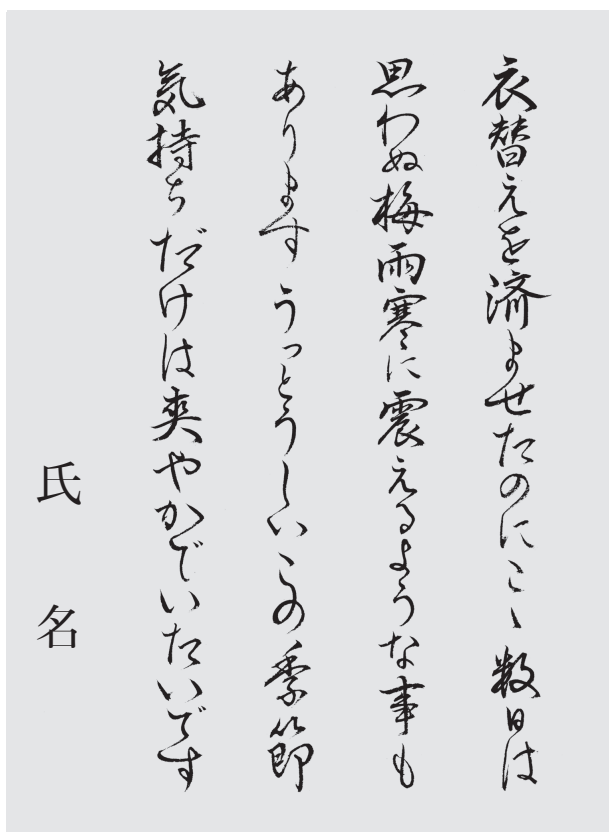


以
正
褒
貶
故
能

神谷葵水先生臨

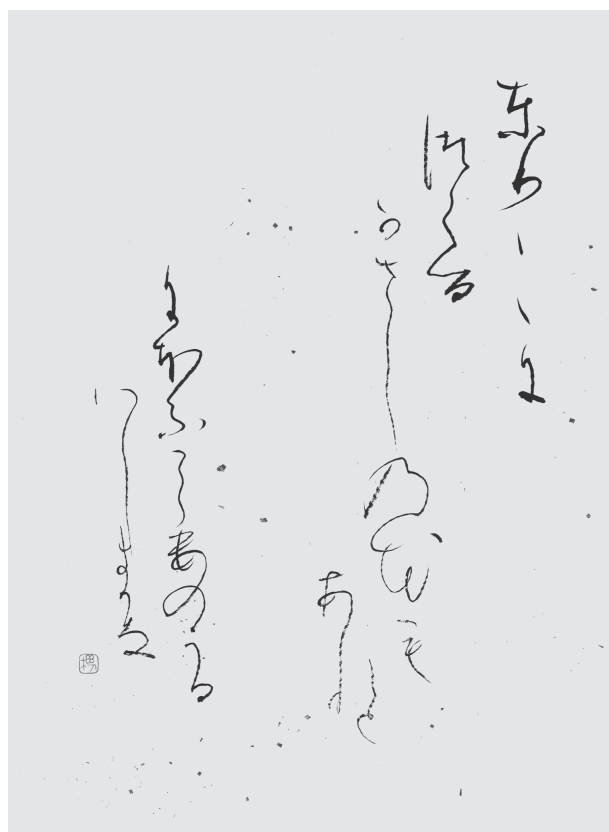
《細字》

《かな》



氏
名

伊藤梅香書



浅井機山先生書

※かな・細字課題は六月の月例課題を兼ねます。

とりどりにつくるかざしの花もあれど
にほふ心のうるはしきかな (昭憲皇太后)